

大岡山小学校

「まなびーポイント」実践例

本校では、「自ら学びを調整する子の育成」を目指して、令和６年度から校内研究の機会だけではなく、自己申告の授業観察の指導案に、児童が「学びのサイクル」を回す姿を引き出すための手だて（自己調整の視点からの授業改善の工夫）を記載してきました。指導案の作成を通して、私たちが授業の手だてとして考えにくいところや「教える部分」と「委ねる部分」のバランスといった悩みを多く発見でき、研究を進めるうえで役立ちました。そして、多くの実践例を集めて分類・整理することで、「こんな児童の姿を目指したい！」という自ら学びを調整する子の児童像が少しずつ明らかになり、児童が「学びのサイクル」を回すための頭の働かせ方「まなびーポイント」にまとまってきました。今年度も、これまで見付けたことを見直したり、新たな「まなびーポイント」を追加したりしています。

このようないきさつから、この実践例には、教科や数に偏りがあり、十分に整理できていない表現もあります。しかし、完成形ではないものだからこそ、参考にしていただけるところがあるかもしれません。私たち教職員も、「見とおす、やってみる、ふりかえる」ことを続けている最中です。ご覧いただいた皆様からのご意見やご指導を賜り、今後も研究を重ねて参りたいと考えています。

国語科における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記 （維持リハーサル方略）	・書き順などを繰り返し確かめて練習する。 ・意見文や紹介文など、手本となる文章の書き方を真似して書く。 ・詩や俳句、ことわざなどを繰り返し読んで覚える。 ・書写で筆運びや筆づかいを繰り返し練習する。
		自分の知っていることや経験とつなげる（精緻化方略）	・既習事項や生活経験をもとに、考えの形成をする。 ・似ている言葉や表現を集めて、分類したり言い換えたりする。 ・筆者の主張や根拠となる事例について、自分の経験と比べて考えをもつ。 ・書写で試し書きとまとめ書きを比べて、学習内容について理解する。
		似ているものなど、自分なりにまとめる（体制化方略）	・中心人物の心情の変化を表や図に整理する。 ・自分の意見と友達の意見の共通点や相違点を整理しながら聞く。 ・中心人物の心情を図にまとめたり、人物の関係を関係図に整理したりする。 ・思考ツールを活用して、考えを広げたりまとめたりする。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して（モニタリング方略）、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・学習のめあてや学習計画を見て、自分がどこまでできたかを確かめる。 ・前回の学習を振り返り、本時のめあてを立てる。 ・初発の感想とまとめの感想を比較して、自分の考えの成長を振り返る。 ・手本や友達の考えを参考にして学習方法を見直す。 ・書いた文章を読み直し、推敲する。（意見文、紹介文、新聞、ポスターなど） ・自分が書いた文章と文例を比べる。 ・自分の考えと友達の考えを比べて、自分の考えを見直す。 ・相手や目的に応じて表現を見直す。 ・読む目的や書く目的に応じて学習の進め方や表現の仕方を選ぶ。 ・学び方の資料を活用し、自分に合った学習の進め方やワークシートを選ぶ。 ・これまでのワークシートや動画を見返して、気を付けることを自分で意識する。 ・書写で試し書きを行い、教材文字と比べて学習の課題をもつ。 ・書写で自分の課題に合わせた練習方法を選択して、練習する。 ・書写で試し書きとまとめ書きを比べて、自分の成長を振り返る。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・分からないときに先生に質問したり、友達と教え合ったりする。 ・学び方の資料を活用し、自分にあった学習方略を活用する。（場所・人数・調べ方・学習資料） ・文例、作品例を参考に、文の書き出しや適切な表現、構成を考える。 ・友達の考えを読み、よいところを見付けて自分の考えを再構成する。 ・協働学習支援ツールの共有機能を使って、友達の考えを知り、自分の考えを深める。 ・友達の話し方や考え方のよいところを真似して発表する。 ・分からない言葉について、辞書を使って調べる。

社会科における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記 （維持リハーサル方略）	・繰り返しプリントなどに取り組むなどして、都道府県名や歴史人物の名前などを覚える。
		自分の知っていることや経験とつなげる（精緻化方略）	・自分の経験や地域の様子と結び付けて考える。 ・前時の学習（ノートやワークシート、教科書の内容）を活用して考える。 ・既習事項と関連付けて資料を読み取る。 ・自分の経験や既習事項、資料から読み取った事実をもとに、学習問題の予想を立てる。 ・社会の出来事と自分たちの生活との関わりを考える。 （地域の特色や身近な生活と学習内容を結び付けて考える。） ・表や白地図にまとめながら、地域ごとの特色を捉える。 ・「なぜそうなったのか」を既習事項や経験を基に考える。 ・調べたことを根拠にして、選択・判断する。 ・学習内容に応じて、活用する資料や適切な調べ方があることを知る。
		似ているものなど、自分なりにまとめる（体制化方略）	・記号や矢印を使って、関係が分かるように整理する。 ・資料から読み取ったことや調べた事実について、分類・整理する。 ・予想や調べる必要があることについて、分類・整理する。 ・複数の資料を比較し、共通点や相違点をまとめる。 ・年表を作り、出来事の流れやつながりを整理する。 ・複数の人物や出来事の関係を関連図や相関図などにまとめ、事実を整理する。 ・調べた事実を分類・整理して、キーワードをおさえたり中心概念をとらえたりする。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して（モニタリング方略）、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・学習問題に対して、調べる必要があることを考え、必要性を考える。 ・学習問題や学習計画に対して、自分の学習の進み具合を確認する。 （分かっていることと、まだ分からないことを整理する。） ・一単位時間の学習内容に対して、学習の手だてを知り、見通しをもつ。 ・学習のめあてに対して、どこまで達成できたかを振り返る。 ・単元の学習内容に対して、学習の手だてを知り、見通しをもつ。 ・学習問題に対する予想を基に、調べる内容や方法を決める。 ・振り返りをもとに、次の時間のめあてを立てる。 ・自分の予想と調べた結果を比べる。 ・友達の考えと比べて、自分の考えを再構成する。 ・調べたことや考えたことを文章に表現したり友達に伝えたりして、自分の理解を確かめる。 ・調べた内容や資料を基に、目的や自分に合ったまとめ方を選ぶ。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・教科書や資料集を活用して情報を集める。 ・地域の人や施設から話を聞いたり調べたりして情報を集める。 ・地図帳や年表を活用して、内容の関連を捉える。 ・統計資料やグラフを活用して事象を分析する。 ・ICT を活用して必要な情報を収集する。 ・写真や動画、実物などの資料を活用して、学習内容の理解を深める。 ・友達と調べ方や調べた事実を共有し、学びを深める。 ・学習内容について他者と話し合い、新たな視点や考え方を得る。 ・友達の考えを参考にして、自分の考えを再構成する。 ・協働学習支援ツール等を活用して、自分の考えを共有し、他者の考えの内容や表現方法を参考にする。

算数科における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記 （維持リハーサル方略）	・計算カードや九九カードなどで、繰り返し練習する。 ・筆算や作図の手順などを確かめながら、繰り返し練習する。
		自分の知っていることや経験とつなげる（精緻化方略）	・今までの学習と比べて、問いを見付ける。 ・今までの学習を使って課題を解決して、統合的に理解する。 ・統合的に見いだした内容から、発展的に考えて、新たな問いを見いだす。 ・自分の考え方を、図・式・言葉といった数学的表現を使って表す。
		似ているものなど、自分なりにまとめる（体制化方略）	・学習内容を既習事項と結び付けたり、自分の言葉で説明したりして、理解を深める。 ・自分の意見と友達の意見の似ているところを探して聞く。 ・いくつかの考えを分類・整理し、共通点を見付けて考え方をまとめる。 ・式や図、表を用いて考えを整理する。 ・考え方の順序を意識して、式や言葉で表現する。 ・問題の条件や数量の関係を整理して表す。 ・既習の問題との共通点を見付けてまとめる。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して（モニタリング方略）、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・分かっていること、求めたいこと、使えそうな考え方を整理して、解決の見通しをもつ。 ・自分の考え方の説明をする。 ・友達の考えを他の人が説明する。 ・既習の考え方を使って、問題を解く。 ・自分のノートを振り返る、教科書を見るなど振り返る方法を知る。 ・前時の学習（自分のノート）を活用して、問題を解く。 ・間違えた問題についてどこで考え違いをしたか、次はどうするかをノートに記入する。 ・何ができるようになったかについて振り返って、次の時間の問いをもつ。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・教科書の例題や解き方を参考にして考える。 ・前時のノートや学習プリントを見返して考える。 ・分からないことを先生に質問したり、友達と教え合ったりする。 ・自分の考えと友達の考えを比べながら考える。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れる。 ・ヒントカードや学習資料を活用して考える。 ・解決に役立つ資料や情報を選んで活用する。

理科における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記（維持リハーサル方略）	・理科の用語や器具の名前を繰り返し使って覚える。 ・観察や実験の方法を何度か確かめたり、結果を繰り返し確認したりする。 ・学習した知識を練習問題で繰り返し確かめる。
		自分の知っていることや経験とつなげる(精緻化方略)	・自分の経験やこれまでの学習と関連付けて考える。 ・経験や既習の内容を根拠に仮説を立てる。 ・既習の内容を使って、仮説を検証する実験計画を立てる。 ・調べたことと自分の考え（予想も含む）を結び付けて考える。 ・学習したことを自分たちの生活や将来と結び付けて考える。 ・新しく分かったことを既に知っていることと関連付けて理解する。 ・学習したことを別の事象と結び付けて考える。
		似ているものなど、自分なりにまとめる(体制化方略)	・記号などを使って関係が分かるようにまとめる。 ・絵や文章を使って自分なりに工夫してまとめる。 ・実験結果（例：磁石がつくものつかないもの、電気を通すもの通さないものなど）を分類、整理する。 ・観察や実験の結果を予想と比べて考察する。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して(モニタリング方略)、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・予想や仮説を基に、実験方法や実験計画を考える。 ・目的に応じて観察や実験の方法を選択する。 ・結果と共に実験の手順を振り返り、妥当性、再現性を検討する。 ・実験方法のよかったところ、改善点を見付ける。 ・結果を踏まえて、実験方法や条件を見直す。 ・結果から新たな疑問を見付け、次の課題を設定する。 ・実験結果を基に、自分の考えを再構築する。 ・自分が取り組んだ問題の解き方や考え方がねらいと合っているか確かめる。 ・学習したことが生活にどう生かされているか生活を振り返る。 ・学習したことが生活にどう生かせるかを考える。 ・振り返りを基に、次の学習のめあてを立てる。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・先生や友達に聞く。 ・友達のよいところを真似する。 ・友達や他の班の考えや結果と比べる。 ・資料を活用する。(動画、写真、教科書、インターネット、図鑑、本、など) ・協働学習支援ツール等を活用して、自分の考えを共有したり、友達の考えを参考にしたりする。

体育における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記 （維持リハーサル方略）	・何度も試して感覚をつかむ。 ・同じ動きを繰り返し練習する。 ・めあてを意識しながら、反復して練習する。
		自分の知っていることや経験とつなげる（精緻化方略）	・前時の学習を生かして、動きのポイントを考える。 ・これまでにできた動きや経験を生かして、新しい運動に挑戦する。 ・作戦や動き方について、これまでの経験を基に考える。 ・他の運動で身に付けた動きを活用して取り組む。 ・なぜうまくいったのか、なぜうまくいかなかったのかを考える。 ・友達のよいところを見付けて、自分もやってみる。
		似ているものなど、自分なりにまとめる（体制化方略）	・前転と台上前転、台上前転と首はね、頭はね跳びを比較して、似ている動きと違う動きを整理する。 ・動きや作戦のねらいを言語化し、動きを再現しやすくする。 ・運動のこつを集めて、一般化した言葉でポイントとして整理する。 ・動きの段階写真から、運動局面ごとのポイントを把握する。 ・学習した技（動き）の共通点・相違点をまとめる。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して（モニタリング方略）、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・フローチャートで自分の課題を把握し、課題解決のための場を選ぶ。 ・自分の動画と手本の動画を比較して、課題を発見する。 ・自分の動画を見て、自分の動きを振り返り、自分のめあてを見付ける。 ・自分の最初の動画と比較して、自分の成長を知る。 ・チェックシートを見て技のポイントができているか確認する。 ・やってみて、できたかどうか振り返り、その理由を考えて次に生かす。 ・自分の課題に合わせて、練習する場や方法を選んだり考えたりする。 ・振り返りルーブリックシートを用いて学習を振り返る。 ・学習の振り返りを基に、次の課題を考える。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・タイムシフトカメラを活用して、自分の動画を撮影する。 ・共有タイムで友達と話し合い、技や動きのポイントを整理する。 ・教師や友達、手本の動画を見て、動きを真似しながら取り組む。 ・自分がやりたい遊びの場や遊び方を考えたり選んだりする。 ・作戦ボードを使って、友達と確認する。 ・よい動きをしている友達を見て真似をしてみる。 ・友達や教師に聞いて、アドバイスをもらう。 ・技が上手くいくように友達に補助してもらう。 ・「１・２・１・２・３」など、助走のリズムを友達に言ってもらって跳ぶ（走り高跳び・ハードル走）

特別の教科　道徳における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	自分の知っていることや経験とつなげる(精緻化方略)	・自分の経験と結び付けて考えをもつ。 ・自分ならどうするか具体的に考える。 ・教材文の内容と自分の生活経験との共通点や相違点をまとめる。
		似ているものなど、自分なりにまとめる(体制化方略)	・ホワイトボードや付箋を使って考えを分類・整理する。 ・心情円やベン図、クラゲチャート等を活用して、考えを整理する。 ・友達の意見と自分の考えの共通点・相違点を整理する。 ・複数の立場から考えを比較して、整理する。 ・価値についての考えを理由ごとに整理する。 ・学習したことを自分なりの言葉で整理してまとめる。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して(モニタリング方略)、次にどうするか考える(コントロール・調整方略)	・授業の始めに「今日考えたいこと」を決める。 ・学習のめあてに対して、自分がどのように考えられたかを振り返る。 ・学習した価値について、自分ならこれからどのように行動するか、日常生活で実践する方法を考える。 ・自分の考えの変化や深まりを自覚し、よりよい考えを選択する。 ・授業後に「分かったこと・まだ考えたいこと」を振り返る。 ・これまでの自分の経験や考え方と結び付けて振り返る。 ・多様な考え方を踏まえて、自分の判断を見直す。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・友達の考えを聞いて、自分の考えを深める。 ・友達の考えと自分の考えを比べながら話し合う。

総合的な学習の時間における「まなびーポイント」

学習方略	学習方略の内容		まなびーポイント
認知的方略	学んでいる知識やスキルに対する頭の働かせ方	単純反復による暗記（維持リハーサル方略）	・インタビューで聞いたことや調べたことを繰り返し確認する。 ・発表に必要な内容を何度も練習して覚える。 ・発表原稿やスピーチの内容を繰り返し声に出して練習する。
		自分の知っていることや経験とつなげる（精緻化方略）	・自分の経験と関連付けて考える。 ・これまでの学習と関連付けて考える。 ・調べたことと自分の考え（予想も含む）を結び付けて考える。 ・インタビューで聞いたことと資料の内容を関連付けて考える。 ・学習したことを自分たちの生活や将来と結び付けて考える。 ・新しく分かったことを既に知っていることと関連付けて理解する。 ・インタビューやアンケートの結果を表やグラフにまとめる。 ・友達や地域の人の意見を参考にして、自分の考えを再構成する。
		似ているものなど、自分なりにまとめる（体制化方略）	・複数の資料を比較して共通点や相違点を考える。 ・クラゲチャートやフィッシュボーンチャートなどの図表を使って整理する。 ・付箋を使って情報を分類する。 ・調べたこと同士のつながりが分かるように整理する。 ・大切な情報に線を引いたり印を付けたりして整理する。 ・複数の資料を比較して共通点や相違点をまとめる。 ・調べたことを目的ごとに分類して整理する。 ・「なぜそうなるのか」を考えながら学習する。
メタ認知的方略	自分の頭の中に対する頭の働かせ方	できていること・できていないことを把握して（モニタリング方略）、次にどうするか考える（コントロール・調整方略）	・学習課題に対して、自分がどこまで調べられたかを確認する。 ・学習のめあてに対して、どれくらい達成できたかを振り返る。 ・「調べる必要があること」が解決できたかを確かめる。 ・学習課題に対して、必要な情報と不要な情報を分けてまとめる。 ・テーマごとに情報を整理し、自分なりにまとめる。 ・発表などめざす活動に向かって、自分の学習の進み具合を振り返る。 ・学習の進み具合に応じて、調べる方法を見直す。活用する資料や情報源を選び直す。 ・グループの中の自分の役割を自覚して学習する。 ・新たに生まれた疑問や課題を整理する。 ・集めた情報を基に、次に調べることを決める。 ・振り返りを基に、新たな問いや課題を設定する。 ・学習したことを生かして、次の学習のめあてや計画を立てる。
外的リソース方略	自分の頭の外にあるリソースや環境を使おうとする考え方	・教科書、学習資料（文章や動画等）の活用 ・先生や友達との対話	・学校図書館、地域の図書館、インターネットを活用して情報を集める。 ・複数の資料を活用して、事実を確かめる。 ・地域の人や専門家にインタビューする。 ・保護者に話を聞いたり相談したりする。 ・調べる対象になる場所や、活用できそうな施設を見学して情報を集める。 ・先生や友達に質問する。 ・グループで課題について話し合う。 ・友達と情報を共有し、考えを深める。